



令和4年6月議会定例会は、6月10日から17日までの日程で開かれました。一般質問は14・15日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。

今議会で可決された議案など

- 令和4年度 飯館村一般会計補正予算
- 令和4年度飯館村国民健康保険特別会計補正予算
- 令和4年度飯館村簡易水道事業特別会計補正予算
- 令和4年度飯館村介護保険特別会計補正予算
- 令和4年度飯館村介護保険の一部を改正する条例
- 東日本大震災に伴う国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例
- 飯館村介護福祉条例の一部を改正する条例

紙面の都合上、一部省略しています

村長村政報告

紙面の都合上、一部省略しています

帰還困難区域の避難指示解除に向けた進捗について

長泥行政区では、特定復興再生拠点区域において、環境省による除染や家屋解体、環境再生事業などが進み、現在、3月に設置した村除染検証委員会による検証を行っています。同委員会が5月にまとめた中間報告を村ホームページで公表しています。

今後は、避難指示解除要件である①年間積算線量が20ミリシーベルト以下になることが確実であること②生活に必要なインフラがおおむね復旧すること③県市町村・住民と十分な協議がなされることの一つひとつについて検証と準備を進めます。

避難指示解除に向けては、集会所等の整備に加え、先に避難指示が解除された19行政区と同様に、飲料水確保や昇口舗装などの生活インフラの整備を進め、長泥地区の住民や議会の意見を踏まえつつ、国と相談の上、準備宿泊等についても検討を進めます。

東日本大震災による被災者が属する世帯の第1号被保険者に対する介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例

飯館村敬老祝金給付条例の一部を改正する条例

敬老祝金はその年の4月1日現在で満年齢が75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳を迎えた方に給付してきました。改正により100歳を超えた方には毎年給付することとしました。

特定復興再生拠点エリア造成工事請負契約の変更について

災害関連農村生活環境施設復旧事業・福島再生加速化交付金事業農業集落排水管路工事(草野第2地区草野2期その2)請負契約の変更について

村道路線の廃止及び認定について

地震被害について

3月16日に発生しました福島県沖地震では、住家の被害調査の申請が6月2日現在で111件あり、順次、損害判定を行っており、証明書の交付をしています。

村民の帰還状況

6月1日現在の村への帰還者は637世帯、1226人で帰還率は約24.9%。これに転入者201人といいたてホームの入所者等を合わせた村内の居住者は782世帯で1481人となっています。避難を継続している方は、県外避難者が166人。県内避難者は、福島市に2169人、南相馬市に302人、伊達市に264人、川俣町に251人、相馬市に135人など、合わせて3280人です。

ワクチン接種について

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種は「いちばん館」に集団接種会場を設けて実施。4回目接種は対象者に意向調査を郵送し、7月からの接種に向け準備を進めています。

農政関係

水稲の作付け面積は204haとなり昨年度の約1.16倍に拡大する見込み。「あぶくまもち」は「飯館村あぶくまもち生産組合」が県と種苗許諾契約を締結し種子生産が可能になりました。

建設関係

村道舗装機能回復工事(舗装工事)では30路線10.7kmを発注。この工事で計画した路線がほぼ完了します。村管理の普通河川は昨年度で河道掘削が完了し、全線で除草作業を行う予定。「農業基盤整備促進事業」は農業基盤再生係を設置し大幅な増員を行って事業を進めております。

教育関係

4月に「いいたて希望の里学園」に17人が入学。「までの里のこども園」には4人が入園しました。学園の児童生徒は68人、こども園の園児は41人となり、計109人が村の学校・園に通っております。5月には感染症対策を徹底し、合同の運動会が開催されました。

プレミアム付商品券

4年目も引き続き、県の事業再開・帰還促進事業を活用し実施します。発行数を1万7000冊に増やし、6月1日から発売を開始。事業の効果を高めるイベントとして、村商工会主催の「いいたて夏まつり」「いいたて秋まつり」「いいたて冬まつり」などのイベントも計画しています。

あいの沢・深谷復興拠点

宿泊体験館「きこり」は、地震の影響で宿泊棟及び入浴施設の営業を休止しています。入浴施設の修繕を進め、できるだけ早期に利用可能となるよう努めます。また、「村民の森あいの沢」のオートキャンプ場では4月からモニター利用を開始し大きな反響をいただいています。

「いいたて村の道の駅までい館」

では飯館牛の復活を目指し、村産産牛の加工品、A5ランク肥育牛の販売などを実施。隣接する「ふかや風の子広場」「ドッグランわんこの庭のびのび」も利用者から好評をいただいています。

わくわく推進協議会

「いいたてわくわく推進協議会」において、村の食材を活用したオリジナルカレーパンを試作するプロジェクトが開始し、3月13日に試食会を開催しました。今後は得られたノウハウをもとに、量産のためのレシピや単価設定など課題を洗い出します。また、こうした村を活性化する活動について、積極的に検討・推進します。

地域おこし協力隊

5月3日・4日、地域おこし協力隊の二瓶麻美さんが、マルシェ(市場)型イベント『山の向こうから』を開催しました。イベントは、感染症対策を整えた上で実施され、過去最高の約1200人が来場しました。

また、横山梨沙さんは、三千本の復興桜のライトアップに合わせて、村商工会青年部と協力しコーヒーストップを出店しました。

3月末に協力隊を卒業した松本奈々さんも、旧コメリ跡地で『図図(ずつと)倉庫』プレオープンイベントを開催しています。